

大石町谷地区の 景観まちづくり

No.1

令和4年10月 発行
松阪市建設部都市計画課

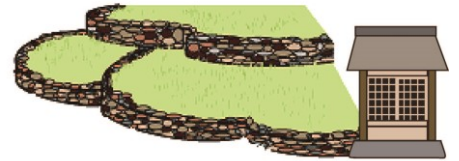


松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

また、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様にもっともっと松阪市の景観を好きになってほしいとの想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

大石町谷地区は、櫛田川の支流である谷川の扇状地に、美しく積まれた石垣の棚田が特徴的な景観で、それは「山抜け※との戦いの歴史」だったと今に伝わります。古くは江戸時代中期より歴史とともに育まれてきた石垣の里は、本市を代表する文化的景観として保全する必要性を強く感じることから、重点地区（候補）としての位置づけをしていきたいと考えています。



※山抜け：山崩れと同義語。長雨や豪雨により地盤が緩み、斜面が崩壊する現象のこと。

大石町「谷の郷」について

谷地区は、まつさか香肌イレブンの1座である白猪山の麓に広がり、山の斜面に芸術的な石積みの棚田を見ることができます。当地の棚田は、先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれ、地区の自慢であるとともに、平成14年度の「松阪まちづくり景観賞」の景観部門・最優秀賞にも選ばれ、文化的景観として高く評価されています。

棚田の歴史は、段々田の開墾にはじまり、江戸中期のしゃくぬけ（山津波）で集落は大被害を受け、その教訓の積み重ねにより、山津波に備えた石垣が積み上げられてきました。

石垣と暮らしが密着した谷地区の棚田は、大切に維持管理され、丹精込めた棚田米が作られ続け、住民の暮らしや営みに密着していると感じられます。

【大石不動院】

和歌山街道沿いにある大石不動院は、「大石の不動さん」として親しまれ、櫛田川の清流を望み地域のランドマークとなっています。また、境内地の露岩には、ムカデランの大きな着生群落（国指定天然記念物）が見られます。



市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

【重点地区や重点地区（候補）の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区

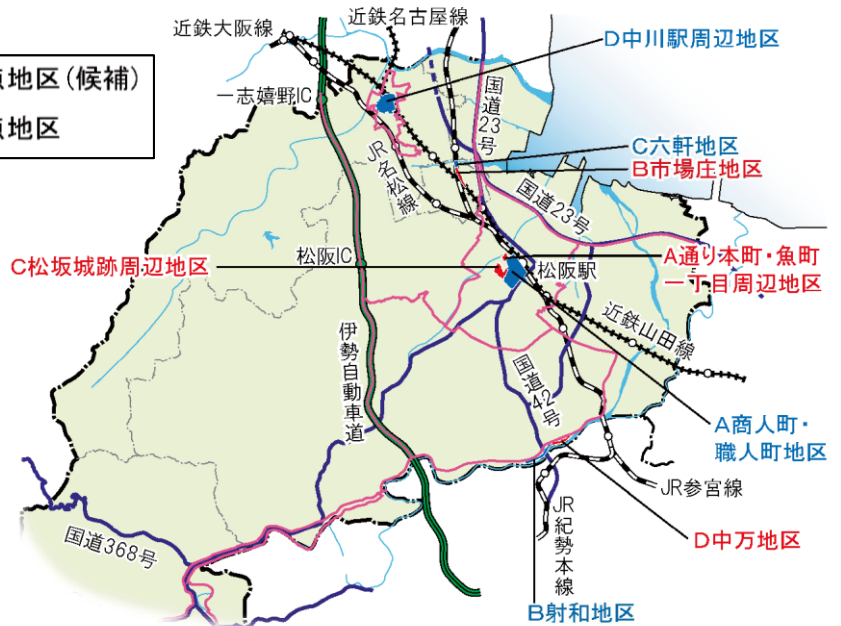


C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区

- 重点地区（候補）
- 重点地区

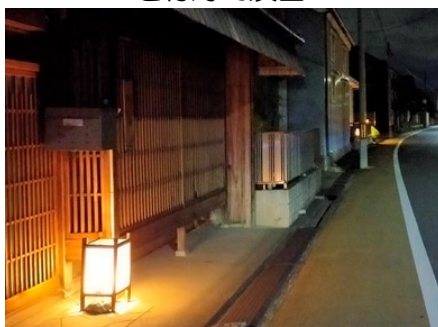


重点地区で行われている様々な景観まちづくり活動を紹介します！

歴史的建造物の活用



“格子戸のまちなみ”
を行灯で演出



地区の伝統行事を
現代版として復活



まちの散策を
通じた交流活動



みんなで柿渋塗りにして
まちなみをメンテナンス



景観まちづくり
意見交換会

